

区長部研修報告

11月16日(火)、区長部21名で「地域たすけあい事業の再編」のモデル地区として活動している、小田切地区住民自治協議会(小田切支所)を訪問しました。小田切住自協からは、会長、福祉コーディネーター、担当者など9名が出席、運用に至るまでの経緯・問題点・課題などを丁寧に説明していただきました。

小田切地区は人口824名の山間地でありバスの便も悪い為、住民の足として乗合タクシー「かつら号」の運行を平成30年4月からスタート。予約受付を住自協で行い、月・水・金の3日地区内及び安茂里駅までの運行をしており、



小田切交流センターにて

い事業の「お互助っ人」を令和3年7月よりスタートしたとのことです。まだまだ課題は多いと言っていましたが、住民のため頑張っている小田切住自協でした。

若槻地区は各区ごとに状況は違いますが、住民の困り事などの把握をする為にアンケートを行うなどして、少しずつ前に進める事が必要と感じました。(区長部)

買い物、病院、会合など住民の利便性を高めています。

その後も会合を重ね、アンケートや困り事の聞き取りなどを行い、名称「和輪話の会」を立ち上げ検討し、小田切地区独自の「有償家事援助」として草刈り・障子張り・ゴミ出し・話し相手等を500円/30分でスタート。更に地域たすけあい事業等の再編検討を行い、マイカー移送支援を追加した新たすけあ

人権に関する作文発表(徳間小学校)

コミわかでは人権教育・啓発活動として毎年住民集会を開催し、小中学校のみなさんに人権作文を発表していただいておりますが、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため住民集会の規模を縮小しました。作文(原文のまま)は広報紙による発表とさせていただきます。この機会にぜひ人権について考えてみませんか？(人権教育部会)

みんなを笑顔にするために

徳間小学校 6年3組 千川 千明

11月に、なかよし旬間がありました。旬間中に活動したなかで、心に残ったことやこれから続けたいと思ったことがあります。

まず「仲間のために自分ができることカード」への記入です。「仲間のために自分ができることカード」とは、一日一回、善い行いをしてカードに記入するという取り組みです。この取り組みが始まってから、ぼくは、学校の友だちや先生、家の人などが困っていたら助けるなど、人のために行動することが増えました。すると、家の人にほめられたり、うれしいと感じたりすることが増えました。カードへの記入はもう終わりましたが、これからも《一日一善》をずっと続けて、みんなを笑顔にしていきたいと思っています。

次は「あいさつカード」についてです。「あいさつカード」とは、一日にあいさつをした人の数を数えて、カードにその分の色をめぐる取り組みです。ぼくは、カードに友だちよりもたくさん色をぬりたいと思います、たくさんあいさつをしました。すると、毎朝、とても気持ちよく登校できるようになりました。あいさつ旬間が終わっても気持ちよくいっぱいあいさつをしたいです。

また、なかよし旬間に、パラ学車いすポートホールとパラパワーリフティング選手でもある馬島誠先生のお話をお聞きしました。そのなかで「相手の気持ちに立って考える」という言葉が心に残りました。確かに、相手の気持ちに立って考えて行動すると、相手はうれしくなってくれると思いますし、その相手も自分に何か返してくれるかもしれないから、大切だなと思いました。また、《一日一善》に取り組んでいた時に、相手のために何かすると相手は喜んでくれたし、ほめてくれる僕自身うれしかったです。だから、これからも相手の立場になって考えて行動しようと思いました。なかよし旬間中は、とてもいい活動ができたので、これからも続けて、みんなを笑顔にしていきたいです。

私が大切だと思つこと

徳間小学校 6年3組 小泉 栞音

11月に徳間小学校では、なかよし旬間がありました。そこで「あいさつカード」と「仲間のために自分ができることカード」に取り組みました。「仲間のために自分ができることカード」は、一日に一つは善いことをするために取り組みました。

私は、あいさつは大切だと思います。また、《一日一善》を行うには思いやりが必要なので、思いやりも大切だと思っています。

まず、あいさつについてです。あいさつは、初めて会った人と最初に交わす言葉になると思いますが、また、朝、登校したときに友だちと会ったからおはよう、しばらく合わなかった友だちと会ったから「久しぶり」などのあいさつをします。あいさつは、人と人をつなぐ、大切な言葉だと思っています。そして、あいさつは、だれでも気軽に言える言葉だと思つので、大切だと思っています。

次に、思いやりについてです。思いやりのある善い行動をすれば、人に感謝されると思います。思いやりやりの気持ちを持って助けてもらった人はうれしいし、思いやりやりの気持ちを持って助けた人は、相手に感謝されうれしくなると思っています。どちらの側もうれしい気持ちになれるので、思いやりはいいものだと思います。あまり話したことのない人も、思いやりやりの気持ちを持って接すれば、仲良くなるきっかけになることもあると思います。仲良くできる人が増えれば、たくさん友だちができるということなので、毎日の生活も楽しくなります。

このようなことから、私は、あいさつも思いやりも大切だと考えています。あいさつをする時、人と人がつながり友だちが増えるし、思いやりやりの気持ちを持って接しても友だちができる。つまり、あいさつと思ひやりは別のものだけれど、実は、つながっているところもあると私は思っています。この二つを、これからも大切にしていきたいです。